

# 大規模基盤整備をきっかけとして法人設立と農地集積を進めたプラン

だいせんしこがなり

(秋田県大仙市小神成地域(H25.4作成、H27.2見直し))

## 《概要・データ》

地域の特徴	大仙市の東端に位置する中山間地。水稻と大豆の栽培が経営の中心であり、今後えだまめ栽培に取組み収益の柱とする。 地域内農家数33名、地域内農地面積42ha。
中心経営体	法人経営体 1、個別経営 1
出し手となる農業者	32名《提供予定農地面積 37ha》
農地集積	現状(H23) 30ha(担い手 9名：集積率71%) →目標(H28) 37ha(法人 1件、担い手 1名：集積率88%)



基盤整備が完成した  
小神成地区  
(中央緑化部分)

## 《特徴的な取組》

- ・ 当該地域では、平成25年にプランを作成したが、基盤整備がほぼ完了したことに伴い、平成26年2月から農地集積や地域農業のあり方について見直すこととし、市及び県の指導を受けて、担い手を中心に16回程度話し合いを開催した。
- ・ その結果、基盤整備前は担い手9名で地域の71%を耕作していたが、高齢化等の課題を抱える地区で将来的に農業を継続していくためには、大区画化した農地の集積を進めて効率的、低コストな生産体制を構築することが必要と考え、平成27年1月に担い手8名により新たに法人を設立した。
- ・ 話し合い等により地域内で農地中間管理機構に貸し出すことを希望した農地については、当該法人が中心に引き受け、平成27年度は機構を通じて33.7haの農地を借り受けた。
- ・ 個別経営時の栽培比率は、主食用米60%：大豆40%だったが、法人化設立後は主食用40%：大豆60%とすることを目標に取り組んだ結果、平成27年は栽培比率を主食用米37%（13.8ha）：大豆63%（23.9ha）計37.7haとして栽培比率・集積面積とも目標を達成することができた。今後はえだまめの導入で高収益を目指すこととしている。

## 《プラン作成・見直しの経緯》

- ・ 平成25年4月に検討会を開催しプラン決定。
- ・ 平成25年12月、平成26年6月 検討会を開催・見直し。
- ・ 平成27年2月に検討会を開催・見直し。

## (大仙市位置図)

